COPD 治療について ハンドブック 理解しよう



COPDの治療は医師と二人三脚で

~治療の流れ~

治療の基本です

禁 煙

(禁煙外来·禁煙教室)

COPD治療のなかで、もっとも有効なものは禁煙です。禁煙を実行することにより、 COPDの進行が抑えられるばかりでなく、 さまざまな病気にかかる確率が低下します。



息切れをやわらげ、運動能力を高める

薬物療法

薬物療法は息切れを軽減して、運動能力 を高めることを目的としています。

COPDが重症でなければ、息切れは体を動かしたり運動したりするときにのみ感じます。そのようなときに薬物治療をすると、その効果を実感できます。



体重減少を防ぐ

栄養管理

患者さんが意外と気づかないものに、ご自分の栄養状態があります。COPDの場合、体重が減少する患者さんがかなり多くみられます。体重が減るとかぜなどにかかりやすくなるので、栄養のあるものを取るようにすることが大切です。







重症になったら

酸素療法

COPDに有効な治療法をすべて行っても、低酸素血症が継続する場合には、酸素療法を開始しなければなりません。長期の酸素療法は、症状



はもちろんのこと、 精神神経機能の改善をもたらし、酸素 療法をすることによって、外出や旅行が 容易になります。

いざというときのための

外科療法

(手術)

最大限の内科的治療にもかかわらず十分な効果がみられず、しかもCOPDのなかで肺気腫

が優位な患者さんの場合 には、外科療法が役立つ ことがあります。必ず専 門医にご相談下さい。



COPDになったら使うおくすり

~はたらきによって大きく4つにわけられます~

COPDの治療に使うおくすりは、はたらきによって大きく4つのグループに分けることができます。吸入器をつかって口から吸入するタイプのおくすりが多いですが、飲み薬や貼り薬もあります。また、その作用もさまざまです。



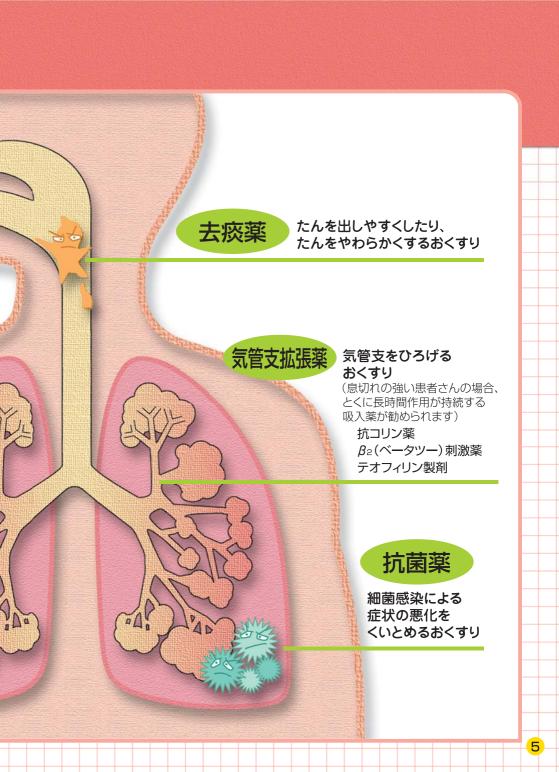
おくすりは、 からだのなかで このような はたらきをします。

ステロイド薬

炎症をおさえるおくすり

(全身性の副作用のあるおくすりですので、 吸入薬として使うのが原則です)





薬物療法のキホン

~気管支拡張薬について~

体を動かしたときに息切れのあるCOPDでは、気管支を広 げる作用のあるおくすりを吸入する治療が基本となります。

気管支拡張薬はCOPDのすべての症状における 第一選択薬です

気管支拡張薬は、気管支を広げ、空気の通りを よくするので、息切れの症状を改善できます。 息切れの症状が強いときには、体を動かしたり 運動をする前に使うと効果的です。 いつも息切れがあるときには、長 時間にわたり効果が持続する吸入



薬が勧められます。

吸入療法はCOPDの治療に適しています

COPDの治療には吸入薬が使用されます。 おくすりを吸入することで、飲み薬と比べて 少ない分量で気管支に高濃度でゆきわたり、 効果も早く現れます。また、全身的な副作用 も飲み薬より軽減できます。



吸入器の使い方をマスターしましょう。



吸入療法は正しく行うことが大切です。

吸入器の使い方にはコツがあ りますから、医師や薬剤師の 指導のもと、きちんとマスタ 一して使いましょう。



~吸入器の使い方が苦手な方へ~

吸入器の使い方のコツがわからない、扱いが苦手 であるという場合は、かかりつけの医師または 薬剤師に相談するか、製薬メーカーが作成してい るパンフレットやVTR、ホームページをご覧くだ さい。吸入器の使い方が詳

細に説明されていますので、 苦手な方にはきっと参考に していただけるでしょう。 製薬メーカー作成のパンフ レットやVTR、ホームページ アドレスの入手についても、 医師または薬剤師にご相談 ください。



肺の病気COPD (慢性閉塞性肺疾患)「COPD-jp.com」の総合情報サイト

http://www.copd-jp.com

COPD



提供:

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

